

『看護研究 第4回目』 研修会実施報告

日時 : 令和2年12月5日(土) 8:30~17:15

対象者 : 卒後4年スタッフ13名 アドバイザー3名

参加者数 : 16名

目的 : 看護研究の取り組み方法と実際を知り、看護の創造性を養う事ができる

<講師の紹介>

山陽学園大学 中木里実先生

順天堂大学 平岡玲子先生

畿央大学 福森貢先生

今回の研修はコロナウイルス感染拡大の影響を受け中木先生はオンライン形式での参加となりました。

午前中は主に統計学・福森先生にご指導いただき、午後からは前回に引き続き中木先生・平岡先生にご指導いただきました。



<内容>

今回の研修は各グループがデータ収集を終え、結果・分析を含む内容を論文作成し研修に参加しました。

午前中は各グループが論文を発表し、福森先生からデータ分析に関することや分析結果の論文への書き方、グラフの表し方など細部にわたる助言をいただきました。

午後は中木先生、平岡先生に論文の内容を吟味し、研究してきた内容をわかりやすく伝える形で論文にする方法についてご指導いただきました。

今回の研修では初めてオンラインでご指導頂くこととなりました。不慣れな環境下での研修となりましたが、先生や受講生の協力もあり、いつもと同様にご指導を受けることができました。

年が明けると研究発表本番まで残り30日となります。講師の先生、アドバイザーから助言をいただきながら論文完成やプレゼンテーションの準備を頑張ってください。

